

香川県知事賞

作品名：「あとどれくらい？」残りがわかる水筒

受賞者：三豊市少年少女発明クラブ（丸亀市立城東小学校）小学4年

つるおか みお
鶴岡 湊

（作ったきっかけ）

私は遊んだときや運動するときに、水筒の中が気付かないうちに空っぽになってお茶がなくなり困ったことがあったので、外からみて水筒の中身が分かればいいなと思い作りました。

（仕組み）

水筒のカバーの底に上下2枚の円形の板にバネを貼り付けて入れました。水筒の上部に中身の量に合わせて色のシールを貼りあとどれくらいか分かるようにしました。

（くふうしたところ）

バネが水筒の重さで初めは下がり、軽くなると持ち上がる力を利用しました。残りの量が分かるように緑は満タンからほとんど入っている、黄色が見えると半分ぐらい、赤が見えるとほとんどないから空っぽと、信号みたいにシールを貼りました。

（使い方）

水筒の中身を飲むと軽くなるのでバネが上に上がってきます。シールの色で中の残りがわかるようになります。



香川県教育委員会教育長賞

作品名：おばあちゃんが気がつく雨ふりセンサー

受賞者：三豊市少年少女発明クラブ（三豊市立詫間小学校）小学3年

とみやま けいご
富山 慧悟

（作ったきっかけ）

おばあちゃんが耳が悪いので、雨が降ってきても気づかず、洗濯物が濡れてしまうことがあったからです。

（仕組み）

水センサーが雨に当たるとスイッチが入り、パトライトが光るしくみです。

（くふうしたところ）

音だと耳が悪い人には気付かないので、パトライトを光るようにしたところです。

（使い方）

水センサーを外に出しておいて、雨が降ってきたらパトライトが光って知らせてくれます。

（動かし方）

パトライトが光ったら、洗濯物を急いで入れに行きましょう。

